

令和2年度京都市職員採用ガイダンス（動画）

「採用面接の実演」 発言概要

【司会】

ただ今から、採用面接の実演を始めます。

この採用面接の実演は、例年、大変好評をいただいております。採用面接の実演を御覧いただき、参考にさせていただき、御自身の面接に対する不安を少しでも解消いただければ、と思います。

面接の実演を始める前に、本市の面接試験について簡単に御説明します。本市では人物重視の採用試験を実施しており、すべての採用試験で個別面接があります。職種により面接回数が異なりますが、例えば、上級一般事務職（行政）であれば、京都方式、一般方式ともに3回の個別面接があります。

本日の実演では面接官が2名で実演いたします。ただし、実際の面接では、職種や段階によっては、面接官が3名以上となるケースもあります。また、内容を記録する職員が入ることもあります。

面接の部屋に入ると、中の人が多くて、更に緊張してしまう方もいらっしゃいますが、面接官としては、受験者一人ひとりのことを知りたいという思いで質問をさせていただきますので、できる限り普段どおり、ありのままの自分を出して見せていただけたらと思います。

なお、本日の受験者役は、一般事務職の京都方式で合格した採用1年目職員です。1年半前に実際に面接試験を経験しているので、皆様にとってもより近い立場で御覧いただけるものと思います。

本日は、事前に受験者から提出していただいている自己紹介書に基づき、2人の面接官が順番に話を伺います。面接の一つの例として御覧いただき、少しでも雰囲気を感じていただければと思います。

それでは、採用面接の実演をスタートします。

（面接実演の開始）

コンコン（ドアのノック音）

【面接官（男性）】

どうぞ。

【受験者】

失礼します。

受験番号1043番、京都 花子（きょうと はなこ）と申します。よろしくお願ひいたします。

【面接官（男性）】

よろしくお願ひします。それではどうぞ、おかけください。

京都さんですね。本日は京都市の採用試験にお越しいただきありがとうございます。

昨日はよく眠れましたか。

【受験者】

そうですね。ちょっと緊張はしていたのですが、いつもくらいには眠ることができました。

【面接官（男性）】

それはなによりです。それでは、面接を始めます。本日は、前の面接官2名で順番にお話を伺います。よろしくお願いします。

【受験者】

よろしくお願いします。

【面接官（男性）】

既に自己紹介書を出していただいておりますが、大学進学を機に関西にこられ、現在、大学院に通学されていますね。

【受験者】

はい。大学院では地域政策を専攻し、「再生可能エネルギー事業による中山間地域の活性化」をテーマに研究を進めています。

【面接官（男性）】

複数のアルバイトをしていたようですが、自分に一番合っていたもの何ですか？

【受験者】

私は飲食店のホールや、ショップでの販売等のアルバイトをしていましたが、どれも接客業であり、接客業全般が自分に合っていたと思います。その中でも、飲食店のアルバイトがもっとも自分に合っていたと思います。

【面接官（男性）】

なぜ、そう思うのですか？

【受験者】

接客業は、来店されたお客様と直接コミュニケーションが図ることができます。私は、お客様がよろこんだり、笑顔になることが働くうえで大切であると考えており、実際に飲食店でのアルバイトで、たくさんのお客様の笑顔を見ることができたからです。

【面接官（男性）】

そのアルバイトから何を学びましたか？

【受験者】

相手の立場に立ち考え行動することです。些細なことではありますが、小さなお子様連れのお客様には、こちらから取り皿やフォークを出したり、夏場にウォーターサービスを積極的に行ったりしていました。実際に、多くのお客様から「気が利くね。ありがとう」などと言っていただくことができました。

【面接官（男性）】

分かりました。私からは以上です。

【面接官（女性）】

続いて、私から質問いたします。

先ほど、大学進学を機に関西に来られたとのことでしたが、京都市を希望されたのは何か理由はありますか？

【受験者】

大学院の研究で地域の持続可能性を軸に研究していたのですが、多数の地域を訪れる中で、地域の持続的発展には自治体と地域住民との関わりが不可欠と感じました。この経験から市民の声と直接接する機会の多い地方公務員として地域の持続的発展に貢献したいと考えました。

その中で、京都市は、バイオマス産業都市に指定されるなど、循環型社会形成に積極的に取り組んでいて、地域コミュニティ活性化に尽力されるなど、これからの都市が直面する課題にいち早く取り組んでいるため、私も、研究で培った知見を活かし、京都市を「持続可能な都市政策の先駆者」と呼ばれる存在にしたいと思い、志望しました。

【面接官（女性）】

わかりました。それでは、大学生活の中で、これだけは誰にも負けないという経験があれば、教えていただきたいのですが。

【受験者】

私は生協学生委員会に所属していましたが、そこで、リリパックという再利用できる生協弁当の容器について周知するという新事業を立ち上げたことです。

【面接官（女性）】

なぜその事業を立ち上げようと思われたのですか。

【受験者】

私自身、環境政策などに興味がありましたが、他生協が環境への取組を進める中、私たちが何か取り組めることがあるのではないかと思ったからです。当時、大学の生協は、リリパックの利用はしていましたが、回収活動をしていなかったのも、まず、リリパックの処理方法を学んでもらえるように体験会を提案しました。

【面接官（女性）】

提案してみてどうでしたか。

【受験者】

正直、周りのメンバーからは、面白味が薄く集客力に欠けると反対されました。そこで、まず賛同してくるメンバーを集め、そのメンバーと一緒にどのようにしたらいいか検討していたところ、新メニュー試食会という企画があり、その企画との合同企画として提案しました。

【面接官（女性）】

その活動で何か苦労したことはありましたか。

【受験者】

試食会チームとコミュニケーションをとって説得しなければならず、生協職員との調整も大変でしたが、リリパックに取り組む意義を粘り強く丁寧に説明したことで、合同開催が可能となりました。

【面接官（女性）】

そうですね。では、その経験から得たものはありますか。

【受験者】

様々な立場、様々な意見がある中、それぞれの立場にたって考え、どう説明すれば納得してもらえるのか考えました。周囲と協力、調整しながら、主体的に企画を実施していく力が身に付いたと思います。

【面接官（女性）】

なるほど。そのような経験を積まれてこられたのですね。

それでは、以上で面接を終わります。ありがとうございました。

【受験者】

ありがとうございました。

失礼します。

（面接実演の終了）

【司会者】

面接実演は以上となります。御覧いただいたとおり、実際の面接でも、提出いただいた自己紹介書に基づいて、質問をさせていただきます。

本日の実演では、約10分程度でしたが、本番の面接ではもう少し時間が長くて、幅広くいろいろなことをお伺いしたり、場合によっては、一つのことを掘り下げてお聞きすることもあります。

それでは、今日の受験者役の職員に少し話を聞いてみたいと思います。

さて、受験者役お疲れ様でした。

面接実演、大変、緊張されたと思いますが、御自身が面接を受けられた時も同じくらい緊張されたのではないですか？

【受験者】

そうですね。実際の面接のときと同じくらい緊張しました。

【司会者】

本日の質問内容は、いかがでしたか？1年半前の面接のときと同じようでしたか？

【受験者】

はい。もう少し時間が長かったように思いますが、同じようなことを聞かれたように覚えています。思い出すと、確かに京都市の志望理由などについて聞かれました。

【司会者】

そうでしたか。ちなみに今回の面接は、実際の面接と比べてうまく話せたと思いますか。

【受験者】

そうですね。緊張はしましたが、同じように話せたと思います。

【司会者】

ありがとうございました。

【受験者】

ありがとうございました。

【司会者】

さて、面接は、初対面の面接官と話すことになるので、どうしても緊張されると思います。面接は面接官との会話のキャッチボールですので、いつもどおり、リラックスしてお話しただければと思います。

今日の実演ではアルバイトとサークル活動のことをお聞きましたが、面接でお尋ねする内容は、人によって様々です。大切なことは、「自分の言葉で伝えていただく」ということです。覚えてきた文章を、面接でそのまま話していただく必要はありませんので、面接前には自分の中で話したい内容をしっかりと確認、整理しておくことが必要なかなと思います。

繰り返しになりますが、これが面接の全てではありません。受験者に合わせて本当に色々なことを伺います。この実演で、面接当日のイメージを少しでも持っていただければ幸いです。

ありがとうございました。